

2023年度

学校関係者評価報告書

実施日：2024年 3月 22日（金）

学校法人斐川コア学園

出雲コアカレッジ

学校関係者評価委員会

1. 開催日時 2024年 3月 22日 (木) 15:00~16:00

2. 開催場所 出雲コアカレッジ 会議室

3. 出席者 (敬称略)

| 氏 名 | 役 職 |
|--------|--------------------|
| 伊藤 繁満 | 出雲市議会議員 |
| 西村 隆正 | 前松江商業高等学校校長 |
| 陰山 篤也 | 斐川町商工会事務局長 |
| 高橋 敦 | 出雲コアカレッジ父母等代表 |
| 渡部 敏郎 | 校長 |
| 舟木 賢治 | 副校長、こども福祉科学科長 |
| 勝部 葉子 | 事務長 |
| 佐々木和歌子 | 医療ビジネス科・情報システム科学科長 |

4. 次第

(1) 開会 (挨拶、配布資料確認)

(2) 2023年度状況報告

(3) 質疑応答、助言

(4) 学校関係者評価表記入

5. 学校関係者評価結果

評価は4段階

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

| 評価項目 | | 評価点の平均 |
|-----------|---|--------|
| 1 教育理念・目的 | | |
| 1 | 学校の理念・目的・育人人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 3.8 |
| 2 | 学校における職業教育の特色は示されているか | 3.5 |
| 3 | 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 3.5 |
| 4 | 学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 3.3 |
| 5 | 各学科の教育目標・育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか | 3.5 |
| 2 学校運営 | | |
| 1 | 目的等に沿った運営方針が策定されているか | 3.5 |
| 2 | 運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 3.8 |
| 3 | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 3.3 |
| 4 | 人事、給与に関する規程等は整備されているか | 3.5 |
| 5 | 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3.0 |
| 6 | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 3.5 |
| 7 | 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 3.8 |
| 8 | 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3.0 |
| 3 教育活動 | | |
| 1 | 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4.0 |
| 2 | 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4.0 |
| 3 | 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4.0 |
| 4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 3.3 |
| 5 | 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 3.3 |
| 6 | 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 3.3 |
| 7 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 3.8 |
| 8 | 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 4.0 |
| 9 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4.0 |
| 10 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか | 4.0 |
| 11 | 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか | 2.8 |

| 評 価 項 目 | | 評価点 の平均 |
|--------------|---|------------|
| 12 | 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど マネジメントが行われているか | 3.3 |
| 13 | 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質 向上のための取組が行われているか | 3.5 |
| 14 | 職員の能力開発のための研修等が行われているか | 2.5 |
| 4 教育成果 | | |
| 1 | 就職率の向上が図られているか | 3.5 |
| 2 | 資格取得率の向上が図られているか | 3.8 |
| 3 | 退学率の低減が図られているか | 3.3 |
| 4 | 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3.3 |
| 5 | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3.3 |
| 5 学生支援 | | |
| 1 | 進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4.0 |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか | 3.5 |
| 3 | 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 3.5 |
| 4 | 学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3.5 |
| 5 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか | 3.5 |
| 6 | 学生の生活環境への支援は行われているか | 3.3 |
| 7 | 保護者と適切に連携しているか | 3.3 |
| 8 | 卒業生への支援体制はあるか | 3.3 |
| 9 | 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 3.3 |
| 10 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3.8 |
| 6 教育環境 | | |
| 1 | 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3.0 |
| 2 | 学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか | 3.8 |
| 3 | 防災に対する体制は整備されているか | 3.3 |
| 7 学生の募集と受け入れ | | |
| 1 | 学生募集活動は、適正に行われているか | 3.8 |
| 2 | 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 3.8 |
| 3 | 学納金は妥当なものとなっているか | 3.0 |
| 8 財務 | | |
| 1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 3.0 |
| 2 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.3 |
| 3 | 財務について会計監査が適正に行われているか | 3.5 |
| 4 | 財務情報公開の体制整備はできているか | 3.3 |

| 評 価 項 目 | | 評価点 の平均 |
|----------|---|------------|
| 9 法令等の遵守 | | |
| 1 | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4.0 |
| 2 | 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか | 3.5 |
| 3 | 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3.3 |
| 4 | 自己評価結果を公開しているか | 3.8 |
| 10 社会貢献 | | |
| 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 3.8 |
| 2 | 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 3.5 |
| 3 | 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4.0 |

6. 意見等

- ・多くの卒業生が地元就職しており、地域に貢献している
- ・求人情報は多数寄せられており、求人数で困っていることはない
- ・情報系の就職活動は早期化している状況である
- ・出雲はIT企業が多く、本校も企業との連携が盛んである
- ・ETロボコンに5年連続全国大会出場をしている
- ・基本情報技術者試験に、今年度は過去最多の21名が合格した
- ・一般財団法人日本医療教育財団の「教育優秀校」に5年連続選ばれており、今年度も医療事務技能審査試験（医科・歯科）に全員合格している
- ・こども福祉科2年生全員が保育士資格を取得し卒業式をむかえる
- ・短期の受託訓練では、キャリアコンサルタント資格を持った教員が十分なフォローを行っているが、雇用形態など、本人の希望と合致しないことからやや就職率が低めである
- ・教職員の待遇改善を図り、魅力ある講師、学科にしていく必要がある
- ・教員のスキルアップ研修の時間を確保できるようにすべき
- ・施設設備の整備について、自己評価が低い理由として「教室数不足」や「老朽化」が挙げられる
- ・どの業界でも言えるが、人材の確保が難しくなっている

7. 学校の見解

- ・昨年度（2022年度）のWi-Fi環境整備やLED化工事等の影響もあり、施設・設備の整備に関する項目の点数が改善された
- ・今年度末には、全パソコン実習室のモニター入替が完了し、「見やすい」画面のものにすべて変更を行った（授業の質向上のための重要な整備が完了した）
- ・こども福祉科の募集停止により、新教室増設の件は保留案件となった
- ・学納金について、2025年度入学者から値上げを行うが、周辺専門学校等の学納金状況を鑑みた内容であり、奨学金と設備充実にあてる目的であるが、中長期的に学校の財務基盤を安定させるためにも学生数確保に有効に作用するべく、募集活動強化の一環としてとらえている
- ・情報系教員の確保について厳しい状況ではあるが、待遇面により離職するケースの防止のためにも世相（物価上昇率等）を踏まえた適切な待遇改善に取り組んでいく
- ・教職員の資質向上面の評価が低い点について、外部研修参加等スキルアップを目指す

